



お元気ですか！
志村 たかよし です

第 8 2 6 号 2017年2月12日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電 話 3 5 4 6 - 5 5 6 3
F A X 3 5 4 6 - 9 5 7 0

中央区2017年度予算案

一般会計で953億円

市街地再開発事業に134億円

予算の14%

中央区の来年度（2017年度）予算案が発表されました。

区は「20万都市への幕開け!!ーオリンピック・パラリンピックとその先の輝かしい未来に向けてー」を予算のテーマにしていますが、区民の福祉や生活の位置づけは、どうなっているのでしょうか。

予算案は、これから設置される予算特別委員会で本格的に審議されますが、大規模開発に比重をかけた特徴がはつきり出ています。

一般会計の総額は、今年度（16年度）予算より、3億円増の953億円。その一方で、大規模開発



各事業への2017年度の税金投入額

湊二丁目東地区

13億8千万円 （途中累計 61億8千万円）

月島一丁目西仲通り地区

2億4千万円 （途中累計 11億4千万円）

勝どき東地区

43億9千万円 （途中累計 60億5千万円）

日本橋二丁目地区

32億1200万円（途中累計70億200万円）

日本橋室町三丁目地区

36億円 （途中累計 41億円）

月島三丁目南地区

1億5800万円 （初年度）

豊海地区

4億2600万円 （初年度）

* 市街地再開発事業には、事業完了まで毎年、税金が投入されます。

中心の市街地再開発事業には、今年度より10億円増の134億円を計上しており、予算にしめる市街地再開発事業の割合は、昨年の「13%」を上回る「14%」になっています。

「過去最高」と言いますが、市街地再開発事業による増額であることは明白です。

「20万都市への幕開け!!」の重点が、タワーマンションや超高層オフィスビル建設による「国際都市」をめざすまちづくりであることが予算に表われています。

「住民が主人公」となる中央区政になっているのか、予算審議で問題点を明らかにしていきます。

いきいき桜川（敬老館）改築へ

**敬老館・地域密着型特別養護老人ホーム
保育園・認知症高齢者グループホーム：**

予算案には、「いきいき桜川」

改築のための基本設計・実施設計の予算1億5千万円が計上されています。

老朽化している施設の改築に合わせ、敬老館と保育園（定員拡大）のほか、地域密着型特別養護老人ホームと認知症高齢者グループホームを整備する計画です。

17年度は設計。18～20年度に解体・建設工事を行い、4年後

の20年度が開設計画です。

「いきいき桜川」を「本の森ちゅうおう（仮称）」のなかに移設する計画がありました。計画が見直され、現在地での改築が決まりました。

桜川敬老館は、地域住民の運動で建設されたという歴史があります。

改築にあたり、地域や利用者の方たちと一緒に作った敬老館にするために、みなさんの意見・要望をぜひお聞かせください。

本の森ちゅうおうの整備も

「本の森ちゅうおう（仮称）」の整備もいよいよはじまります。

17年度と18年度に基本設計・実施設計が予定され、図書館や郷土資料館、生涯学習機能が計画されています。

みなさんの意見を集め、すてきな図書館を作りましょう！

考える会が「第三十四回おもちつき大会」

2月4日、「中央区心身障害児者の進路と生活を考える会」の「おもちつき大会」が、有馬小学校で盛大に行われました。34回目を迎えた「おもちつき

大会」には、今年も、障害者団体や地域の方たちをはじめ、区長や区議、区職員など大勢の方たちが参加しました（上写真）。

もちつきは、全員参加。

みなさん笑顔で楽しく杵を振り上げていました。

私（志村）も力いっぱいにつきました（左写真）。



意見・要望など、お気軽に「連絡ください」(number 6666)